

市町村名	伊是名村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-7 観光リゾート産業の振興		
担当部課名	商工観光課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村の観光名所である二見ヶ浦海岸を一望できる展望台の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		29年度	30年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	2,719	36,223			38,942	
	B. 執行済額	2,719	36,223			38,942	
	うち 交付金充当額	2,175	28,978			31,153	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	地域の観光資源である二見ヶ浦海岸を一望できる展望台を計画どおり整備した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			29年度	30年度	○年度	○年度	○年度
	展望台の整備	目標	実施設計	本体工事			
		実績	実施設計	本体工事			
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			29年度	30年度	○年度	○年度	○年度
	展望台工事の完了	目標	実施設計完了	工事完了			
		実績	実施設計完了	工事完了			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	伊是名村入域客数	目標	36,494人				
実績		35,752人					
	目標						
	実績						
状況説明	【R1年度】 ・入域客数は35,752人となり僅かに下回っているが、概ね目標は達成できたと考えている。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R1年度】 ・入域者数が下回っていることについて、H28～R1年まで入域者数は伸びているが、目標値には達していない。 ・観光地のアンケート調査を実施したところ、回答者の9割から「満足している」という回答が得られたことから、訪れた観光客からの満足度は高いが、入客数の伸びが悪いのは本村の認知度が低いことが課題であると考える。 H28 33,842人 H29 34,688人 H30 35,647人 R1 35,752人	【R1年度】 ・本村の観光資源の認知度向上や魅力の発信を図る必要がある。
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・村の魅力ある観光施設や観光ルートについて、県内外に向けての情報発信、関係機関と連携し、ソーシャルメディアを活用したPRを行い、周知強化を図る。
--

市町村名	伊是名村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊是名村救急体制強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-1 災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	総務課	事業実施 年度	平成 26	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 III-10-(2)	
事業内容	災害時に住民や観光客の安全を確保するため、救急車両(消防車)を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		26年度	30年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	10,000	34,452			44,452	
	B. 執行済額	9,500	34,452			43,952	
	うち 交付金充当額	7,600	27,561			35,161	
	執行率(%) (B/A)	95.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	98.9%	
執行状況の説明		入札算により7,548千円減額したが、事業内容について当初の予定どおり実施することができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	救急車両(消防車)導入の実施	目標	実施				
		実績	実施				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	救急車両(消防車)1台の導入完了	目標	完了				
		実績	完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	消防団の訓練の実施(12回以上/年)により、緊急車両(消防車)の活用のあり方を検証する。	目標	12回			
	実績	14回				
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【R1年度】 ・H30年度に緊急車両(消防車)を整備導入し、年12回以上の消防車両を活用した訓練の実施を目標とし、R1年度において火災訓練や避難訓練に車両を使用し訓練を実施。また、車両のポンプ操作訓練の実施を行うことが出来た。</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R1年度】 ・新しい消防車の導入により、初期消火が迅速に行えるようになり、火災(実績3回)を抑制できた。</p>	<p>【R1年度】 ・今後も継続した訓練を実施しポンプ操作の習得、全団員の習得を出来るよう体制強化を図っていく。</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R1年度】 ・消防団員が適正なポンプ操作を習得するため、ポンプメーカーを派遣し操作技術講習会の実施。また、放水訓練等を繰り返し実施することによりポンプ操作の技術を向上させ地域防災活動や体制強化を図っていく。</p>
